



静岡市立清水高部小学校の児童が、昔の人々の暮らしを体験することを目的に、

土器の分類体験 石器の試し切り体験 火起こし体験 を行いました。

土器の分類体験

縄文土器、弥生土器、須恵器の3種類の土器片を完形土器と見比べて分類する体験をしました。



<児童の感想>

- ・分類が難しかったけれど、協力してやることができよかった。
- ・土器はもっと重いついていたけれど、意外と軽かった。
- ・教科書で見て知ってはいたけれど、実際に触って本当に厚かったり、重かったりして種類ごとの違いがわかってよかった。

石器の試し切り体験



黒曜石製の石器で紙や野菜を切る体験をしました。

<児童の感想>

- ・今の包丁と同じくらいの切れ味があって驚いた。
- ・切るのが難しかったけれど、コツをつかんだら上手に切ることができてうれしかった。
- ・当時の人のようにもっといろいろな野菜を切ってみたい。

火起こし体験



舞錐(まいぎり)法という方法で、火起こし体験をしました。

<児童の感想>

- ・見ていたら簡単そうだなと思ったけれど、やってみたら難しかった。
- ・たくさん人の助けがあって火が起こせたから、当時の人たちの大変さがわかった。それを実感できてよかった。
- ・当時は火起こしの道具をそろえるところから料理は始まったと思ったから、食事が大変だったと思った。



<先生方の感想>

- ・どの体験もなかなか学校にあるものではできない体験だった。どの子も実物を手に取り体験をすることができてよかった。
- ・子どもたちが実際にやってみることで、当時の環境や人々の思いを考えながら学ぶことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた。

